

## 1 令和4年度港北高校学校運営協議員一覧

- 産業能率大学経営学部長・教授  
松尾 尚
- 港北保護司会副会長  
佐々木 貞貴
- 認定NPO法人びーのびーの事務局長  
原 美紀
- 横浜保育福祉専門学校校長  
加藤 孝夫
- 横浜市立大綱中学校校長  
後藤 秀吉
- 横浜市立太尾小学校校長  
館 雅之
- 神奈川県立港北高等学校同窓会副会長  
田村 千恵子
- 神奈川県立港北高等学校PTA会長  
内藤 美保
- 神奈川県立港北高等学校校長  
松崎 剛

### <事務局>

- |        |                |
|--------|----------------|
| 三上 実   | 本校・副校長         |
| 押野 尚夫  | 本校・教頭          |
| 藤澤 淳哉  | 事務長            |
| 阪本 宏児  | 総括教諭 学習支援グループ  |
| 中根 賢   | 総括教諭 生徒支援グループ  |
| 加藤 慧   | 教諭 活動支援グループ    |
| 二瓶 信一  | 総括教諭 管理・運営グループ |
| 関口 奈緒美 | 総括教諭 進路支援グループ  |
| 中島 淳一郎 | 総括教諭 開発・広報グループ |
| 村上 輝   | 教諭 開発・広報グループ   |

## 2 資料

- (1) 令和4年度 第1回学校運営協議会次第／座席表
- (2) 令和4年度 学校運営協議会会員名簿
- (3) 神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱
- (4) 神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則  
(平成28年3月29日教育委員会規則第5号)
- (5) 令和4年度 学校要覧

- (6) 令和3年度卒業生の進路状況
- (7) 令和3年度部活動実績
- (8) 令和3年度 不祥事ゼロプログラム検証結果報告
- (9) 令和4年度 不祥事ゼロプログラム行動計画
- (10) 令和4年度 神奈川県立港北高等学校不祥事ゼロプログラム
- (11) 港北高校における新型コロナウイルスに係る対応状況等の推移
- (12) 令和4年度に神奈川県立高等学校への入学を希望する皆さんへ

### 3 学校からの報告事項

#### 【教育課程・学習指導】

- ・新学習指導要領に基づき、54期生から新カリキュラムが始まった。それに伴い、1年次2年次ともに、授業時数が31コマまで増えている（昨年度は29コマ）。そのため、現在は火曜日に7時間目まで、月曜日にも6時間目まで設定している。
- ・新科目について、国語は2科目（現代の国語、言語文化）、社会は1科目（歴史総合）、英語科は1科目（論理表現）、それぞれ追加されている。理科は3科目（物理基礎・化学基礎・生物基礎）を1年次に履修する。2年次3年次は科目選択が多様になるため、進級後の科目選択の在り方について考える機会を多く与えたい。

#### 【生徒指導・支援】

- ・生徒支援グループは、本来支援が行き届かないところに支援の手を差し伸べることを目指している。コロナ禍に際して学校が臨時休業になったことなどから、精神的に支障を抱える生徒が多い。何が精神的な支障の原因かを、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの相談を通じて明らかにしていく必要がある。
- ・全職員が日頃から生徒の様子を見て、時には外部機関の援助を得て対応することで、すべての生徒に支援が行き届く体制を整えていく。

#### 【活動指導・支援】

- ・学校行事について、昨年度はコロナ禍のためあまり多くは実施できなかった。体育祭はかなり規模を縮小し、文化祭は1日に短縮して行った。球技大会は学年レクという形で実施した。一方、オンライン端末を活用して委員会活動を行うという試みを行ったが、これは一定の成果を上げられたと考えられる。
- ・部活動に関しては、大会等がコロナ禍以前と同じように開かれているため、実績を残す機会が増えている。今後も活発な活動が見込まれる。

#### 【学校管理・学校運営】

- ・同窓会の協力を得て花壇整備を行っている。令和4年度では、これまで導入したプロジェクト等の設備を活用していきたい。

#### 【進路指導・支援】

- ・昨年度具体的に行ったのは、3学年で、今まで年に一度のみだった外部模試を3回校内で実施したことである。模擬試験の校内実施を3回にしたことは、今年度以降も残していきたい形である。

- ・進路に関するガイダンス体制も様々な点において整えてきた。個々の対応は担任と生徒一対一のやりとりが重要となるので、その点に関する情報共有はしっかりと行っていきたい。

#### 【開発・広報】

- ・本校は昨年度まで授業力向上推進校に指定されており、年6回の研修会、年2回の研究授業、年2回の授業互見週間など、授業力向上のための取り組み体制を組織的に整えてきた。今年度より推進校の指定は外れたが、これまでの取り組みと効果を踏まえ、今後も教員研修会と研究授業は残していきたい。
- ・本校は学校ホームページの充実に力を入れている。具体的には、昨年度は授業や学校説明会の様子を動画撮影し、公開した。今年度は、動画を発表する時期等に気を配り、効果的な配信方法を考えて実施する。
- ・今年度から新たに実施していることとして、「総合的な探究の時間」の改善がある。先進校の視察などを通じて、本校に導入可能な授業モデルを検討する。

#### 4 意見及び改善策の提案について（委員の方々より）

##### ○教員の負担について

今年度は授業時数に関わる変動があり、教員負担が増えるのではないかと憂慮している。コロナ禍で精神的に不調を抱える生徒がいるという話もあったが、そうした生徒への対応によって教員の負担が増えるのではないだろうか。なるべく外部のカウンセラーに協力を仰ぎ、教育を守るよう注意してほしい。

##### ○生徒の端末使用について

端末を用いた探究学習という話があったが、こちらについて大いに賛成している。高校生の頃から情報リテラシー教育をしっかりと行い、生徒が端末を効果的に活用できるように支援してほしい。

##### ○行事の実施について

今年度は様々な行事が実施の方向で考えられており、この点について、感染症が心配ではあるが、大いに賛成している。行事一つ一つがクラスの団結につながるのではないだろうか。なるべく行事が実施できることが望ましい。

##### ○校風について

昔から、落ち着いた雰囲気をもった生徒達が通う学校であったが、その点は現在も変わっていない。これは校風としてぜひ守っていきたい。